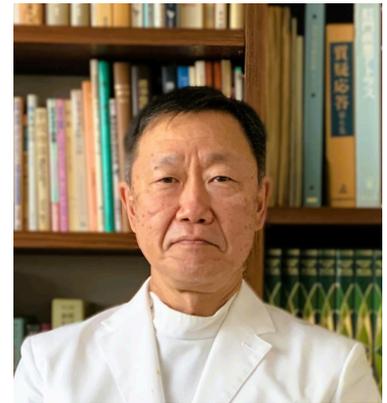




胃癌について

医学の進歩により胃癌は早期に発見すれば命を落とすことが少ない癌となりました。また、胃癌の原因のほとんどはピロリ菌の感染である事もわかったため、ピロリ菌の除菌治療で胃癌を予防する事も期待できる時代となっています。全国的には胃癌の死亡率は減少傾向なのですが、残念な事にこの長岡地域はいまだに胃癌の死亡率が高い地域です。その理由は胃癌検診を受けない方が多いとされています。早期の胃癌は、自覚症状がほとんどありません。そのため無症状でも検査が必要です。



吉田病院 理事長
吉田 英毅

内視鏡検査

内視鏡検査は苦しいという印象がありますが、当院で採用している経鼻内視鏡は、口から入れる内視鏡と異なり吐き気が出にくいためラクに検査を受けることができます。

経鼻内視鏡内視鏡は画質が悪く見落としが多いとする意見もあります。見落としの数がどのくらいあるのかを検証する事は難しいのですが、当院の経鼻内視鏡の検査精度の検証を目的に医学論文でさまざまな医療機関の早期胃癌の発見頻度との比較をしてみました。

早期胃癌発見頻度

内視鏡による早期胃癌発見率の報告 消化器内視鏡学会雑誌 Vol.53(6),Jun.2011改変

報告者	報告年度	医療機関	対象患者	検査例数	早期胃癌発見数	早期胃癌発見率
当院	2022	一般病院	一般診療	372	13	3.40%
宮脇ら	2007	診療所	一般診療	6104	37	0.61%
森ら	2008	診療所	一般診療	1244	12	0.96%
佐藤ら	2008	一般病院	検診	1808	4	0.22%
河合ら	2008	大学病院	消化器診療	959	12	1.25%
蘇原ら	2009	診療所	検診	1193	4	0.34%
近藤ら	2010	一般病院	一般診療+検診	1087	15	1.38%
がん研有明病院	不明	一般病院	一般診療	不明	不明	3%
内視鏡検診(全国)	2011	検診	検診	不明	不明	0.28%

がん研有明病院と内視鏡検診(全国)の数値はホームページより抜粋

このような結果からこの地域の胃癌患者さんの多さと当院の経鼻内視鏡の精度の高さが推察され、見落としも少ないものと考えております。

詳細は、当院の消化器内科までお問い合わせください。



<http://www.yoshida-h.or.jp/>